

全般

コミュニケーション・オン・プログレス(COP)の対象期間

開始:2013 年 7 月 終了: 2014 年 6 月

エーディ株式会社

AD CORPORATION LIMITED

最高経営責任者(CEO)による継続的支持の表明

グローバル・コンパクトへの継続的支持を表明し、イニシアチブと原則に関する現在の取り組みを更新していきます。
最高経営責任者の声明文

国連グローバル・コンパクトの定める4分野(人権、労働、環境、腐敗防止)10原則を継続支持する事を表明し、率先して取り組んでまいります。
代表取締役 木下 桂一

人権原則

企業は、

原則1:国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、

原則2:自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

アセスメント、方針、目標

人権の問題に関する取り組み(人権リスクアセスメント)について、また人権に関する方針、公約、企業目標

取引先やサプライヤーに人権原則の遵守を求める方針を定め、公正かつ意見及び思想の自由を約束。

実践状況

人権に関する方針に基づく実践、人権リスクの削減、及び人権侵害への対応に関して具体的な行動。

人権に関する従業員の意識向上や教育研修。

実践状況を監視し、評価している点。

過去の報告期間において、達成された人権分野での具体的な進展。

労働基準原則

企業は、

原則3:組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、

原則4:あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、

原則5:児童労働の実効的な廃止を支持し、

原則6:雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

アセスメント、方針、目標

労働権に関する貴社の取り組み、労働権に関する公約、企業目標

従業員の権利と責任、及び報酬と手当に関する方針が明確に記されている規則にそ
って、取り組んでいる。

実践状況

労働に関する方針に基づく実践、労働リスクの削減、および労働権侵害への対応に関して取り組み。

従業員や他のステークホルダーとの対話。

成果測定

実践状況を監視し、評価している点。

経営管理者による定期的な成果のレビュー。

環境原則

企業は、

原則7:環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、

原則8:環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、

原則9:環境にやさしい技術の開発と普及を奨励すべきである。

アセスメント、方針、目標

環境保護に関する取り組み、公約、企業目標。

取引先やサプライヤーに環境原則の遵守を求める方針。

実践状況

環境に関する方針に基づく実践、環境リスクの削減、及び環境に悪影響を及ぼす事件/事故への対応に関して取り組んでいること。

環境保護に関する従業員の意識向上や教育研修。

成果測定

どのように実践状況を監視し、評価している点。

経営管理者による定期的な成果のレビュー。

腐敗防止原則

企業は、

原則10:強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

アセスメント、方針、目標

腐敗防止に関する貴社の取り組み、方針、目標

当社が事業を行っている業界や国における腐敗や贈賄のリスクのアセスメント。

実践状況

腐敗防止に関する方針に基づく実践、腐敗リスクの削減、腐敗行為への対応に関して具体的な行動

腐敗防止に関する社内での責任所在の明確化。

成果測定

実践状況を監視し、評価している点

腐敗行為への対処方法。